

平成31年度 年間指導計画(シラバス)

教科名	地歴公民	科目名	日本史A	単位数	2	履修学年・クラス	2ABC
担当者				使用教材	高校日本史A(実教出版 309)／日本史のアーカイブ(とうほう)		

1. 学習目標

- 近現代を中心とした日本の歴史の展開を、諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連づけながら理解する。
- 現代世界と現代の日本がかかえる諸課題を、歴史的観点から考察する力を身につける。
- 歴史的な思考力を培い、国際社会において主体的に生きる一人の人間としての自覚と資質を養う。

2. 学習方法

- 教科書や資料集を通し、日本史に関する事象の基礎的知識を身につける。
- 歴史的な事象を多角的な視点から考察し、自ら考え、適切に表現する力を身につける。
- 教科書・資料集の図版や地図を読み取ったり、歴史的な事象を年表や地図に表したりする力を身につける。
- パソコンや図書などを利用した「調べ学習」を行い、その結果をレポートにまとめ発表することで情報収集力や表現力を養う。

3. 学習評価

評価の観点	関	関心・意欲・態度	日本史の学習内容を単に暗記だけで終わらせず、近現代史を中心とする日本の歴史に対する関心と問題意識を高め、自ら意欲的に探求するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとする。
	思	思考・判断・表現	歴史的な事象の中に自ら問題点を見だし、その原因や背景をさまざまな角度から分析したり、歴史的な意義を考察するなど、日本の歴史を総合的に考え、科学的に思考することができる。同時に、それらを書く、話すなどの方法で適切に表現することができる。
	技	技能	パソコンや図書を使って歴史的事実や歴史の構造について、自らの力で調べ、まとめることができるなど、歴史的事象を多角的な視点から探求する方法を身につけて活用することができる。
	知	知識・理解	近現代史を中心とする日本の歴史についての基本的な事象を、多角的な視点から関連づけながら理解し、歴史的な事実や歴史の構造について知識として身につけ、理解している。

4. 学習計画

学期	内容のまとめ	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法	
				関	思	技	知			
前期	前期中間	第1編・資料 私たちの時代と歴史 東アジアとの交流	運動会の歴史 (ただし、宮澤賢治と地域のつながりに置き換えることもある)	○		○		関: 身近な歴史と生活の関わりや、学校や地域の伝統的な行事について意欲的に探求しようとしている。 思: 「運動会の歴史」を題材とし、自ら調べ、考え、発表することができる。 技: 校史や運動会など学校の歴史に関する資料を調べる技能を身につけている。 知: 自らの力で調べた事実をもとに、その構造を理解している。	授業態度 発問評価 提出課題 意見発表	
			古代～仏教の伝来と発展、遣唐使と渤海使、世界遺産平泉など	○			○	関: 中学校までに学習した前近代の内容を思い起こし、歴史小説などの話題を契機に日本史への関心を高め、自ら探求しようとしている。 思: 東アジアとの関わりを中心に、前近代史の変遷をとらえ、その推移をまとめ、表現することができる。 技: 地図や年表などを通して歴史的事象や変遷を確認する方法を身につけている。 知: 日本の前近代における歴史的事象や各時代の発展経過・歴史的意義を理解し、基本的な知識を身につけている。	小テスト 期末考査	
			中世～中世の農業と経済、平清盛と日宋貿易、元寇など	○		○				
			近世～安土桃山から江戸時代にかけての主な政治・外交・経済・鎖国など	○			○			
	前期末	第2編 第1章	近代への転換	1節 異国船の接近と幕府の動揺	○			○	関: 明治新政府が成立した経過について、人物、事件、遺跡・遺物などに触れながら歴史への関心を高め、自ら探求しようとしている。 思: 前近代から明治時代に移行する経過の特徴を調べ、まとめ、発表できる。 技: 前近代から明治時代に移行する経過について、地図や年表などを通して歴史的事象や変遷を確認する方法を身につけている。 知: 前近代から明治時代に移行する経過とその特徴を理解し、基本的な知識を身につけている。	授業態度 発問評価 提出課題 意見発表 レポート作成 小テスト
				2節 蘭学と国学の普及		○	○			
				3節 開国と社会の変動		○		○		
				4節 尊皇攘夷から倒幕へ		○	○			
				5節 明治維新と新政府の成立		○	○			
				1節 文明開化と復古 2節 地租改正と富国強兵 3節 アジア外交と国境問題 4節 民権思想と国会開設運動 5節 私擬憲法と政党の結成 6節 松方財政と民権運動の激化 7節 大日本帝国憲法の制定	○		○		○	
前期末	第2編 第2章・3章	大日本帝国の展開	1節 条約改正と立憲政友会の結成	○			○	関: 近代国家の成立過程で起こった戦争や民衆運動について関心を高め、自ら探求しようとしている。 思: 近代国家の成立過程で日本が経験した戦争や民衆運動について、原因や歴史的意義など歴史的構造を調べ、まとめ、発表できる。 技: 地図や年表などを通して歴史的事象や変遷を確認する方法や、地域に残る遺跡などを調べ、まとめる力を身につけている。 知: 近代国家の成立過程で日本が経験した戦争や民衆運動について、原因や歴史的意義を理解し基本的な知識が身につけている。	授業態度 発問評価 提出課題 意見発表 レポート作成 小テスト 期末考査	
			2節 朝鮮政策と日清戦争 3節 日清戦争後のアジア 4節 日露戦争と朝鮮 5節 朝鮮の植民地化 6節 資本主義と寄生地主制 7節 社会問題の発生 8節 欧米文化と伝統文化の交錯	○		○		○		

後	後期中間	第2編 第4章・5章	両大戦間の世界と日本	1節 大正デモクラシー	○			○	関： 近代国家の成立過程で起こった戦争や民衆運動について関心を高め、自ら探求しようとしている。	授業態度		
				2節 第一次世界大戦		○	○			思： 近代国家の成立過程で日本が経験した戦争や民衆運動について、原因や歴史的意義など歴史的構造を調べ、まとめ、発表できる。	発問評価	
				3節 第一次大戦後の世界							技： 地図や年表などを通して歴史的事象や変遷を確認する方法や、地域に残る遺跡などを調べ、まとめる力を身につけている。	提出課題
				4節 日本資本主義の成長	○				○		知： 近代国家の成立過程で日本が経験した戦争や民衆運動について、原因や歴史的意義を理解し基本的な知識が身につけている。	意見発表
				5節 米騒動と改造の時代		○	○				(前期後半の第3章と同じ)	小テスト
				6節 男子普通選挙法と治安維持法				○	○			期末考査
				7節 大正デモクラシーと文化	○	○						
	後期末	第2編 第6章・7章	戦後改革と高度経済成長	1節 戦後世界と日本	○	○				関： 近代と現代の相違点に関心を持ち、家族などからの聞き取りや時事問題を通して現代社会への関心を高め、自ら探求しようとしている。	授業態度	
				2節 戦後アジアと日本・アメリカ	○				○		思： 戦前と戦後の基本的な相違点を認識するとともに、戦後の変遷を考え、さまざま現代社会の諸問題を調べ、まとめ、表現できる。	発問評価
				3節 日本国憲法と民主主義体制		○	○				技： 地図や資料などを通して歴史的事象や変遷を確認する方法や、新聞やニュースから問題点を見だし、調べる力を身につけている。	提出課題
				4節 戦後改革の転換			○			○	知： 自ら調べた内容をもとに、現代社会の成立過程と構造・問題点を知識として身につけ、理解している。	意見発表
				5節 経済復興と再軍備								レポート作成
				6節 サンフランシスコ平和条約				○	○			小テスト
				7節 日米新安保条約	○			○				期末考査
後期末	第2編 第6章・7章	現代の世界と日本	8節 高度経済成長と公害					○				
			9節 ベトナム戦争と沖縄						○			
			10節 戦後の文化							○		
			1節 低成長への転換	○	○							
			2節 経済大国と国民生活									
			3節 世界の変動と国際関係				○	○				
			4節 湾岸戦争後の世界と日本				○	○				
5節 バブル崩壊と政界再編	○	○										
6節 21世紀の日本社会							○	○				
7節 21世紀の世界と日本							○	○				

担当者から

○ 普段の授業を大切にして、自ら積極的に参加し意見を述べてください。期末考査は授業で使用するプリントノートをもとにした内容で出題します。
 ○ 歴史のつながりを考える意味で、近現代以前の時代にも目を向けるため予定が後ろにずれ込む場合があります。また、意見発表やディベートの時間を随時取り入れることや、理解度などの状況に応じて授業内容を一部変更することがありますのでご了承ください。
 ○ 修学旅行のコースに応じて、シラバスの内容とは別に「事前・事後学習」を取り入れる場合があります(後期)。